

平成25年度蕨市自転車等駐車対策協議会 会議概要

1 日 時 平成25年12月24日（火）午後1時30分～2時40分

2 会 場 蕨市役所4階第1委員会室

3 出席者 （敬称略）

委 員：大和田康浩、信田美貴子、須賀昭仁、三国昭（会長）、福田秀雄
小林那智子、清水盛二郎（会長代理）、山内俊和、小林利規、大石幸一、
大嶋公一、天野博行、佐藤慎也

事務局：金井宏（市民生活部次長兼安全安心推進課長）、赤羽悟（安全安心推進課
自治安全係長）、小泉卓也（安全安心推進課自治安全係主事）

4 内 容

【開会】

【委嘱状交付】

【市長あいさつ】

【自己紹介】

【会長・副会長の選出】

前任者である三国委員が会長、清水委員が副会長に推薦され満場一致で承認された。

【議題】

（1）会議の公開について

事務局より、会議の公開についての概要説明を行った。

会議の公開について決定し、「蕨市自転車等駐車対策協議会の傍聴にかかる取り決め（案）」
のとおり取り扱うことで承認された。

（2）平成24年度駅前自転車対策実績報告について

（3）平成25年度駅前自転車対策について

事務局より、平成24年度駅前自転車対策実績報告について及び平成25年度駅前自転車対策
について説明を行った。

委 員： 市営駐輪場については先ほど説明がありましたが、放置自転車が減少したのは、民間
駐輪場の役割も大きいと感じている。収容台数の増加については、民間駐輪場との関
連について、どう分析しているのか。

事務局： 現在把握している収容台数は、西口2,500台弱、東口3,500台強であり、今
年度新たに2階建ての駐輪場が中央1丁目にオープンしている。したがって収容台数
は7,000台であったものが現在8,000台を超えている。駐輪場で2時間まで
は無料という場所も多いことから、放置自転車は民間の方々の力もあって減少してい
ると認識している。民間駐輪場の設置に対しては、助成金制度の活用をしていただき、
より一層駐輪台数が増え、放置自転車が減るよう望んでいる。

委 員： 撤去台数をみると、東口が多く、所有者の住所は川口市が多いようであるが、川口市
とは何か協議をしているのか。

事務局： 11月20日に行われた放置自転車クリーンキャンペーンでは、川口市と合同で啓発
活動を実施している。また、西川口駅では逆に蕨市民の利用もあることから、両市で

協議しながら対策をすすめているところである。

- 委員： 放置自転車を撤去したことで苦情等はあるか。また、その内容についてはどのようなものがあるか。
- 事務局： 撤去については、ある程度時間が経過してから撤去を行っている。苦情の例としては、「たまたま今日停めたのに」、「一晩停めたわけでもないのになぜ撤去するのか」、「撤去の表示はどこにしてあるのか」といった内容である。また、ガードレールに鍵のチェーンを巻きつけ撤去されないようにしてあったケースでは、「撤去費用は払うが、チェーン代を弁償してくれ」と言われたことがある。ただし、チェーンを切断することについては、看板等で表示している。
- 委員： クリーンキャンペーンは意義のあることだと思うが、今まで自転車を利用していた人がキャンペーンのチラシをもらい、自家用車での送迎やバス利用に代えることは考えにくい。確かに駅前の放置自転車は減ってはいるが、自転車を置く所を確保することが一番大事だと思う。公営は勿論だが、民営の駐輪場については、市が補助金を出してでも設置していただくことを考えないと、放置自転車の数は減らないと思う。現況調査の台数は、昼間のようなものであるが、いつも決まった時間（何時頃）にとっているのか。時間帯によって台数がかなり変わってくるであろうから、細かい時間で見ることが必要であるし、減少理由の一つに、調査箇所から一本裏の道に自転車が移動しているからではないかとも感じるの、その点をもっと細かく調べて欲しかった。
- 会長： 常に撤去されている人は、撤去されていない場所をある程度知っているの、駅から離れたとんでもない所に置くと思う。そういった放置自転車を見つけた人が、店に連絡してくれることもある。しかし、盗難ではなく意図的に置いている人もいるようだが、市の見解はどうか。
- 事務局： 現況調査の時間については、平日の午後2時から3時である。（午前中も調査しているが、午後の数字が多い。）放置自転車の推移については、区域内は減少しているが区域外へ広がっているといった指摘もいただいておりますので、区域外の対策を講じてまいりたい。
- 委員： 撤去自転車数（平成24年3月、625台）の詳細（防犯登録の有無・国籍等）は把握しているのか。
- 事務局： 撤去自転車の国籍はわからないが、東西口のどちらか、どこの市民か、防犯登録はどうかなどについては把握している。防犯登録については、概ね半分程度登録されている。
- 会長： 自転車リサイクルを行っている関係でみると、10台中7台～8台が防犯登録されている。防犯登録の情報から、引き取りの葉書を出しますが、引き取りに来ない人が約半数いると聞いている。
- 委員： 盗難という人は、どの位いるのか。
- 会長： 盗まれた方が、警察へ盗難届を出すと防犯登録データの中に、盗難届のデータが入るので、盗まれただけではわからない。だいたい県内で毎日80件位自転車が盗まれているそうであるが、それは全て盗難届が出ている上での数字なので、実際届けの出ない数字を入れれば倍以上だと感じている。
- 委員： 届け出ない人はなぜか。
- 会長： 届け出てもしょうがない、届けても出てこないであろう、もう古いからしょうがない等色々な理由があると思う。
- 事務局： 防犯登録の関係で、自分が放置して持っていかれたのに、盗難に遭ったという人がい

るようであり、その見極めが難しい。

会 長： 盗難届を出すと撤去費用が無料になるため、それで出す人もいるようである。

事務局： 警察では、防犯登録がない自転車でも盗まれたとの届け出があった場合には車体番号又は特徴等を聞いて受理するため、防犯登録の有無だけでの判断はなかなか難しい。

(4) その他

○各団体による活動報告について

副会長： 3年位前に商店会で放置自転車について調べたことがあったが、圧倒的に川口在住の人が多かった。東口の駅から近い住民の方は、自転車ではなく歩いている人が多い印象を受ける。以前、「自分の自転車が古くなったから、自分で処分するとお金がかかるので、処分するのに駅に置いてきた」といった不埒な人がいたので嚴重注意したことがあったが、放置する理由として、面倒臭いからとかお金がかかるからといったことで置く人が多いのではないか。

会 長： 何年前かは自転車を処分するのに、業者もお金を払って処分していたが、ここ最近は無料で引き取りにくる。話を聞くと、アフリカやタイ等へ運んでいるようである。先日テレビでも見たが、海外では中古でも日本製の自転車は人気が高いそうである。自転車を引き取りにくる業者に聞くと、1台1,000円から1,500円程度になるそうである。現在自転車屋では、乗らなくなった自転車を持っていくとほとんど無料で引き取ってくれる。自分で処分すると粗大ゴミの手数料がかかるので、放置するのかもしれない。放置自転車を減らすために、市が無料で引き取る必要が出てくるのではないか。また、現在駅前の駐輪場が整備されてきているが、今後民間駐輪場を減らしてしまうと、放置自転車が以前のように増え、新たな駐輪場対策が必要になってくると思う。いずれにせよ現在は、不用な自転車を販売店で無料で引き取ってくれること、駐輪場が整備されていること等、条件的にはいい状態ではないか。

委 員： 交通安全協会の関係になるが、自動車運転免許証を返上する方が、徐々に増えてきている。ある80歳を超える女性の方は、自転車に乗らないよう家族から言われているが、家族の目を盗んで乗っている。そこで何故かと聞くと「歩くより便利だ。歩くより楽だ。歩くと荷物があって大変だ。」と話していた。自転車を利用すると活動量が増えてよいが、お年寄りも交通ルールを守ってもらわないと困る。私どもも夜街頭に立っていると、自転車のライトを点けない、赤信号でも車が来ないと通ってしまうなど、ルールを守らない方に対し教育をするのも、放置自転車対策をするのと同じくらい、市の方でも対策をとってもらえるとありがたい。

○市内の交通事故情勢と道路交通法一部改正について

大和田委員より、市内の交通事故情勢と道路交通法一部改正について説明された。

【閉会】